

◎関税協力理事会を設立する条約

(略称) 関税協力理事会設立条約

昭和二十五年十二月十五日	ブラッセルで作成
昭和二十七年十一月四日	効力発生
昭和三十九年五月十三日	国会承認
昭和三十九年六月五日	加入の内閣決定
昭和三十九年六月十五日	加入書寄託
昭和三十九年六月十五日	公布及び効力発生の告示
(昭和三十九年条約第十一号)	
昭和三十九年六月十五日	効力発生

目次

前文	三〇五
第一条 理事会の設立	三〇五
第二条 理事会の構成員	三〇五
第三条 理事会の任務	三〇六
第四条 理事会の任務遂行上必要な情報の提供	三〇七
第五条 理事会の補佐機関	三〇八
第六条 理事会の権能	三〇八
第七条 本部の所在地及び会合	三〇八
第八条 構成員の投票権及び理事会の決定	三〇九
第九条 他の国際機関との関係	三〇九
第十条 常設技術委員会の構成及びその会合	三一一
第十一条 事務総局長、次長及び職員任命	三一〇

ページ

関税協力理事会設立条約

第十二条	各構成員による経費負担	三一〇
第十三条	法律上の能力並びに特権及び免除の享有	三一
第十四条	欧州関税同盟研究団に関する議定書の受諾	三一
第十五条	署名	三二
第十六条	批准	三二
第十七条	効力発生	三二
第十八条	加入	三二
第十九条	有効期間及び脱退	三三
第二十条	改正	三三
末 文		三四
附屬書	理事会の法律上の能力並びに特権及び免除	
第一条	定義	三二
第二条	法人格	三二
第三条	財産、基金及び資産	三二
第四条	通信に関する便宜	三三
第五条	構成員の代表者	三三
第六条	理事会の職員	三五
第七条	理事会のための任務を行なう専門家	三七
第八条	特権の濫用	三八
第九条	紛争の解決	三九
第十条	補足協定	三九

関税協力理事会を設立する条約

この条約の署名政府は、その関税制度に最高度の調和及び統一を確保すること並びに、特に、関税技術及びこれに関連する関税法制の発展及び改善に固有の問題を研究することが望ましいと考え、これらの事項についての政府間の協力をこれに含まれる経済的及び技術的要素に留意しつつ促進することが国際貿易上の利益となることを確信して、次のとおり協定した。

第一条

ここに関税協力理事会（以下「理事会」という。）を設立する。

第二条

- (a) 理事会の構成員は、次のとおりとする。
 - (i) この条約の締約政府
 - (ii) 独立の関税地域の政府であつて、その外交関係の正式の処理について責任を有する締約政府によつて推薦され、その対外的通商関係の処理について自主権を有しており、かつ、独立の構成員として加盟することをして理事会によつて承認されたもの。
- (b) (a)(ii)の規定に基づいて理事会の構成員である独立の関

関税協力理事会設立条約

CONVENTION Establishing a Customs Co-operation Council.

The Governments signatory to the present Convention,
Considering it advisable to secure the highest degree of harmony and uniformity in their customs systems and especially to study the problems inherent in the development and improvement of customs technique and customs legislation in connection therewith,
Convinced that it will be in the interests of international trade to promote co-operation between Governments in these matters, bearing in mind the economic and technical factors involved therein,
Have agreed as follows :

ARTICLE I.

A Customs Co-operation Council (hereinafter referred to as « the Council ») is hereby set up.

税地域の政府は、その脱退をその外交関係の正式の処理について責任を有する締約政府が理事会に通告した時に、構成員であることを終止する。

- (c) 各構成員は、理事会において自己の代表者となる一人の代表及び一人又は二人以上の代表代理を任命する。これらの代表者は、顧問の補佐を受けることができる。
- (d) 理事会は、構成員でない政府又は国際機関の代表者に対し、オブザーヴァーとして参加することを認めることができる。

第三条

理事会の任務は、次のとおりとする。

- (a) 締約政府がこの条約の一般的目的に即して促進することと合意する関税事項についての協力に関し、すべての問題を研究すること。
- (b) 構成員に対してできる限り高度の調和及び統一を達成する実際的手段を提案する目的をもつて、関税制度の技術的側面及びこれに関連する経済的要素を検討すること。
- (c) 条約案及び条約の改正案を作成すること並びにその採択を利害関係を有する政府に勧告すること。
- (d) 理事会の活動の結果として締結される条約並びに欧州関税同盟研究団が作成した関税率表における物品の分類のための品目表に関する条約及び税関における物品の評価に関する条約の統一的な解釈及び適用を確保するため

ARTICLE II.

- (a) The Members of the Council shall be :

- (i) the Contracting Parties to the present Convention;
- (ii) the Government of any separate customs territory which is proposed by a Contracting Party having responsibility for the formal conduct of its diplomatic relations, which is autonomous in the conduct of its external commercial relations and whose admission as a separate Member is approved by the Council.
- (b) Any Government of a separate customs territory, which is a Member of the Council under paragraph (a) (ii) above, shall cease to be a Member on notification to the Council of the withdrawal of its membership by the Contracting Party having responsibility for the formal conduct of its diplomatic relations.
- (c) Each Member shall nominate one delegate and one or more alternates to be its representatives on the Council. These representatives may be assisted by advisers.
- (d) The Council may admit representatives of non-member Governments or of international organisations in the capacity of observers.

に勧告すること並びに、この目的のため、これらの条約によつて明示的に課された任務を遂行すること。

(e) (d)の諸条約の規定に従つてこれらの条約の解釈又は適用に関する紛争を解決するため、調停機関の資格において勧告すること。紛争の当事者は、その一致した意思により、理事会のこの勧告に従うべきことを事前に約束することができる。

(f) 税関の規則及び手続に関する情報の普及を確保すること。

(g) 自己の発意により又は請求に応じ、この条約の一般的目的の範囲内において、利害関係を有する政府に対し、関税事項に関し情報を提供し、助言を行ない、かつ、勧告すること。

(h) 自己の権限内の事項に関し他の政府間機関と協力すること。

第四条

理事会の構成員は、理事会の要求する情報及び文書で理事会の任務の遂行に必要なものを理事会に提供するものとする。ただし、いずれの構成員も、秘密の情報であつて、その公表が自国の法令の実施を妨げ、公共の利益に反し、又は公的な若しくは私的な企業の正当な商業上の利益を害するおそれがあるものを提供することを要求されない。

ARTICLE III.

The functions of the Council shall be :

(a) to study all questions relating to co-operation in customs matters which the Contracting Parties agree to promote in conformity with the general purposes of the present Convention;

(b) to examine the technical aspects, as well as the economic factors related thereto, of customs systems with a view to proposing to its Members practical means of attaining the highest possible degree of harmony and uniformity;

(c) to prepare draft Conventions and amendments to Conventions and to recommend their adoption by interested Governments;

(d) to make recommendations to ensure the uniform interpretation and application of the Conventions concluded as a result of its work as well as those concerning the Nomenclature for the Classification of Goods in Customs Tariffs and the Valuation of Goods for Customs Purposes prepared by the European Customs Union Study Group and, to this end, to perform such functions as may be expressly assigned to it in those Conventions in accordance with the provisions thereof;

関税協力理事会設立条約

三〇六

第五条

理事会は、常設技術委員会及び事務総局によつて補佐される。

理事会の
補佐機関

第六条

- (a) 理事会は、毎年、構成員の代表のうちから、一人の議長及び二人以上の副議長を選出する。
- (b) 理事会は、構成員の三分の二以上の多数による議決で自己の手続規則を制定する。

理事会の
権能

- (c) 理事会は、関税率表における物品の分類のための品目表に関する条約に規定するとおり品目表委員会を設置し、また、税関における物品の評価に関する条約に規定するとおり評価委員会を設置する。理事会は、また、第三条(d)の諸条約の適用上望ましく又は自己の権限の範囲内の他の目的のために望ましいその他の委員会を設置する。
- (d) 理事会は、常設技術委員会に課する任務及び同委員会に委任する権限を決定する。
- (e) 理事会は、年次予算を承認し、支出を管理し、また、事務総局に対し、財政に関して望ましいと認める指令を与える。

第七条

- (a) 理事会の本部は、ブラッセルに置く。

本部の所

- (e) to make recommendations, in a conciliatory capacity, for the settlement of disputes concerning the interpretation or application of the Conventions referred to in paragraph (d) above in accordance with the provisions of those Conventions; the parties in dispute may agree in advance to accept the recommendations of the Council as binding;
- (f) to ensure the circulation of information regarding customs regulations and procedures;

- (g) on its own initiative or on request, to furnish to interested Governments information or advice on customs matters within the general purposes of the present Convention and to make recommendations thereon;

- (h) to co-operate with other inter-governmental organisations as regards matters within its competence.

ARTICLE IV.

The Members of the Council shall supply to the Council any information and documentation requested by it which is necessary for the execution of its functions provided that no Member shall be required to divulge

- (b) 理事会、常設技術委員会及び理事会が設置する委員会は、理事会が決定すれば、理事会の本部以外の場所において会合することができる。
- (c) 理事会は、毎年少なくとも二回会合する。最初の会合は、この条約の効力発生の後三箇月以内に行なわれるものとする。

第八条

- (a) 理事会の各構成員は、一票を有する。ただし、第三条(d)の諸条約であつて、すでに効力を生じており、かつ、自国に適用されないものの解釈、適用又は改正に関する問題については、投票権を有しない。
- (b) 理事会の決定は、第六条(b)に定める場合を除くほか、出席しかつ投票権を有する構成員の三分の二の多数による議決で行なわれる。理事会は、いかなる事項に關しても、その事項について投票権を有する構成員の過半数が出席していない限り、決定を行なわない。

第九条

- (a) 理事会は、国際連合、その主要機関及び補助機関、専門機関並びにその他の政府間機関との間に、これらの各機関の任務の達成についての協力を最もよく確保する関係を確立する。
- (b) 理事会は、自己の権限の範囲内の事項に利害関係を有

confidential information, the disclosure of which would impede the enforcement of its laws, or which would otherwise be contrary to the public interest or prejudice the legitimate commercial interests of any enterprise, public or private.

ARTICLE V.

The Council shall be assisted by a Permanent Technical Committee and a General Secretariat.

ARTICLE VI.

- (a) The Council shall elect annually, from among the delegates of Members, a Chairman and not less than two Vice-Chairmen.
- (b) It shall establish its own Rules of Procedure by a majority of not less than two-thirds of its Members.
- (c) It shall establish a Nomenclature Committee as provided in the Convention on Nomenclature for the Classification of Goods in Customs Tariffs and a Valuation Committee as provided in the Convention on the Valuation of Goods for Customs Purposes. It shall also establish such other committees as may be desirable for the purposes of the Conven-

関税協力理事会設立条約

する非政府機関との間で、協議及び協力を容易にするために必要な取極を締結することができる。

第十条

- (a) 常設技術委員会は、理事会の構成員の代表者で構成される。理事会の各構成員は、委員会において自己の代表者となる一人の代表及び一人又は二人以上の代表代理を任命することができる。代表者は、関税上の技術的事項を専門とする公務員でなければならない。代表者は、専門家の補佐を受けることができる。
- (b) 常設技術委員会は、毎年四回以上会合する。

第十一条

- (a) 理事会は、一人の事務総局長及び一人の事務総局次長を任命する。これらの者の権能、職務、勤務条件及び任期は、理事会が決定する。
- (b) 事務総局長は、事務総局の職員を任命する。定員及び職員規則については、理事会の承認を受けなければならない。

第十二条

- (a) 各構成員は、理事会、常設技術委員会及び理事会が設置する委員会に派遣した自己の代表団の経費を負担する。
- (b) 理事会の経費は、理事会が決定する基準に従って理事

tions referred to in Article III (d) or for any other purpose within its competence.

(d) It shall determine the tasks to be assigned to the Permanent Technical Committee and the powers to be delegated to it.

(e) It shall approve its annual budget, control its expenditure and give such directions as it may consider desirable regarding its finances to the General Secretariat.

ARTICLE VII.

- (a) The headquarters of the Council shall be in Brussels.
- (b) The Council, the Permanent Technical Committee and any committees established by the Council may meet elsewhere than at the headquarters of the Council, if the Council so decides.
- (c) The Council shall meet at least twice a year. Its first meeting shall take place not later than three months after the entry into force of the present Convention.

ARTICLE VIII.

- (a) Each Member of the Council shall have one vote except that a Member shall

常設技術
委員会の
構成及び
その会合

事務総局
長及び次
長職務
及び任命

各構成員
による経
費負担

会の構成員が分担する。

(c) 理事会は、いずれかの構成員でその分担金の額を通告されてから三箇月以内にその分担金を支払わないものから、その投票権を奪うことができる。

(d) 各構成員は、自己が理事会の構成員となつた会計年度及び自己の脱退の通告が効力を生じた会計年度における自己の年次分担金の全額を支払う。

第十三条

(a) 理事会は、各構成員の領域内において、この条約の附属書に定める法律上の能力で自己の任務の遂行に必要なものを享有する。

(b) 理事会、構成員の代表者、これを補佐するために任命された顧問及び専門家並びに理事会の職員は、この条約の附属書に定める特権及び免除を享有する。

(c) この条約の附属書は、この条約の不可分の一部を構成するものとし、「この条約」というときは、附属書をもさすものとする。

第十四条

締約政府は、この条約と同日にブラッセルで署名のために開放された欧州関税同盟研究団に関する議定書の規定を受諾する。理事会は、第十二条(b)に規定する分担金の基準を決定するにあたり、この研究団の構成員としての地位を

not have a vote on any question relating to the interpretation, application or amendment of any of the Conventions referred to in Article III (2) which is in force and which does not apply to that Member.

(b) Except as provided in Article VI (2) the decisions of the Council shall be taken by a majority of two-thirds of the Members present and entitled to vote. The Council shall not take a decision on any matter unless more than half of the Members entitled to vote on that matter are present.

ARTICLE IX

(a) The Council shall establish such relations with the United Nations, its principal organs, subsidiary bodies and specialised agencies, and any other inter-governmental organisations, as may best assure collaboration in the achievement of their respective tasks.

(b) The Council may make arrangements necessary to facilitate consultation and co-operation with non-governmental organisations interested in matters within its competence.

考慮に入れるものとする。

第十五条

この条約は、千九百五十一年三月三十一日まで、署名のために開放しておく。

第十六条

- (a) この条約は、批准されるものとする。
- (b) 批准書は、ベルギー外務省に寄託されるものとし、同外務省は、すべての署名政府、加入政府及び事務総局長に対し、各寄託を通告するものとする。

第十七条

- (a) この条約は、署名政府のうち七政府が批准書を寄託した日に、これらの七政府の間で効力を生ずる。
- (b) この条約は、その後批准する各署名政府についてはこれらの各署名政府の批准書が寄託された日に効力を生ずる。

第十八条

- (a) この条約の署名政府でない政府は、千九百五十一年四月一日から、この条約に加入することができる。
- (b) 加入書は、ベルギー外務省に寄託されるものとし、同外務省は、すべての署名政府、加入政府及び事務総局長

ARTICLE X.

- (a) The Permanent Technical Committee shall be composed of representatives of the Members of the Council. Each Member of the Council may nominate one delegate and one or more alternates to be its representatives on the Committee. Representatives shall be officials specialised in technical customs matters. They may be assisted by experts.
- (b) The Permanent Technical Committee shall meet not less than four times a year.

ARTICLE XI.

- (a) The Council shall appoint a Secretary General and a Deputy Secretary General whose functions, duties, conditions of service and terms of office shall be determined by the Council.
- (b) The Secretary General shall appoint the staff of the General Secretariat. The establishment and staff regulations shall be approved by the Council.

ARTICLE XII.

- (a) Each Member shall bear the expenses of its own delegation to the Council, to the Permanent Technical Committee

加
入

効
力
発
生

批
准

署
名

に對し、各寄託を通告するものとする。

- (c) この条約は、いずれの加入政府についても、その加入書が寄託された日に効力を生ずる。ただし、第十七条(a)の規定に基づくこの条約の効力發生の前においては、効力を生ずることはない。

第十九条

この条約は、無期限の有効期間を有する。ただし、いずれの締約政府も、第十七条(a)の規定に基づくこの条約の効力發生の日から五年が経過した後は、いつでも、この条約から脱退することができる。脱退は、ベルギー外務省が脱退の通告を受領した日の後一年で効力を生ずる。ベルギー外務省は、すべての署名政府、加入政府及び事務総局長に對し、各脱退を通告するものとする。

第二十条

- (a) 理事会は、締約政府に對し、この条約の改正を勧告することができる。
- (b) 改正を受諾する締約政府は、ベルギー外務省に對し、書面によつてその受諾を通告するものとし、同外務省は、すべての署名政府、加入政府及び事務総局長に對し、受諾の通告を通告するものとする。
- (c) 改正は、ベルギー外務省がすべての締約政府の受諾の通告を受領した後三箇月で効力を生ずる。改正がすべて

and to any committees of the Council.

- (b) The expenses of the Council shall be borne by its Members in accordance with a scale to be determined by the Council.

- (c) The Council may deprive of its voting rights any Member which does not pay its contribution within three months of being notified of the amount thereof.

- (d) Each Member shall pay its full annual contribution for the financial year during which it becomes a Member of the Council and for the financial year during which its notice of withdrawal becomes effective.

ARTICLE XIII.

- (a) The Council shall enjoy, in the territory of each of its Members, such legal capacity, as defined in the Annex to the present Convention, as may be necessary for the exercise of its functions.

- (b) The Council, the representatives of Members, the advisers and experts appointed to assist them, and the officials of the Council shall enjoy the privileges and immunities specified in the Annex to the present Convention.

- (c) The Annex to the present Convention

の締約政府によつて受諾されたときは、ベルギー外務省は、すべての署名政府、加入政府及び事務総局長に対し、これらの受諾及びその改正が効力を生ずる日を通告するものとする。

(d) いずれの政府も、改正が効力を生じた後は、その改正を受諾しない限り、この条約を批准し、又はこの条約に加入することができない。

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正當に委任を受け、この条約に署名した。

千九百五十年十二月十五日にブラッセルで、ひとしく正文である英語及びフランス語によつて、原本一通を作成した。原本は、ベルギー政府に寄託されるものとし、同政府は、各署名政府及び各加入政府に対し、その認証謄本を送付するものとする。

ドイツのために

V・マルツァン

オーストリアのために

ベルギーのために

ポール・ファン・ゼーランド

デンマークのために

shall form an integral part thereof, and any reference to the Convention shall be deemed to include a reference to the Annex.

ARTICLE XIV.

The Contracting Parties accept the provisions of the Protocol concerning the European Customs Union Study Group opened for signature at Brussels on the same date as the present Convention. In determining the scale of contributions provided for in Article XII (b), the Council shall take into consideration membership of the Study Group.

ARTICLE XV.

The present Convention shall be open for signature until 31st March, 1951.

ARTICLE XVI.

(a) The present Convention shall be subject to ratification.

(b) Instruments of ratification shall be deposited with the Belgian Ministry of For-

ベント・ファルケンスティエルネ

フランスのために

J・ド・オートクロック

グレート・ブリテン及び北部アイルランドのために

J・H・ルージュテル

ギリシャのために

D・カプサリス

アイルランドのために

アイスランドのために

ペートウル・ベネディクトソン

イタリアのために

パスカーレ・ディアーナ

ルクセンブルグのために

ロペール・アルス

ノールウエーのために

ヨハン・ゲオルグ・レイデル

オランダのために

G・ペーレルツ・ファン・プロ克蘭ド

ポルトガルのために

エドゥアルド・ヴィエイラ・レイタオン

スウェーデンのために

G・デ・レウテルスキヨルド

スイスのために

reign Affairs, which shall notify all signatory and acceding Governments and the Secretary General of each such deposit.

ARTICLE XVII.

(a) When instruments of ratification have been deposited by seven of the signatory Governments, the present Convention shall come into force between them.

(b) For each signatory Government ratifying thereafter the present Convention shall come into force upon deposit of its instrument of ratification.

ARTICLE XVIII.

(a) The Government of any State which is not a signatory to the present Convention may accede thereto as from 1st April, 1951.

(b) Instruments of accession shall be deposited with the Belgian Ministry of Foreign Affairs, which shall notify all signatory and acceding Governments and the Secretary General of each such deposit.

(c) The present Convention shall come into force for any acceding Government on the deposit of its instrument of accession, but not before it comes into force in accordance with paragraph (a) of Article XVII.

ARTICLE XIX.

The present Convention is of unlimited duration, but at any time after the expiry of five years from its entry into force under paragraph (a) of Article XVII, any Contracting Party may withdraw therefrom. Withdrawal shall take effect one year after the date of receipt by the Belgian Ministry of Foreign Affairs of the notification of withdrawal. The Belgian Ministry of Foreign Affairs shall notify each withdrawal to all signatory and acceding Governments and to the Secretary General.

ARTICLE XX.

- (a) The Council may recommend amendments to the present Convention to the Contracting Parties.
- (b) Any Contracting Party accepting an amendment shall notify the Belgian Ministry of Foreign Affairs in writing of its

acceptance and the Belgian Ministry of Foreign Affairs shall notify all signatory and acceding Governments and the Secretary General of the receipt of the notice of acceptance.

(c) An amendment shall come into force three months after receipt by the Belgian Ministry of Foreign Affairs of notice of acceptance by all the Contracting Parties. When any amendment has been accepted by all the Contracting Parties the Belgian Ministry of Foreign Affairs shall notify all signatory and acceding Governments and the Secretary General of such acceptance and of the date on which the amendment will come into force.

(d) After an amendment has come into force, no Government may ratify or accede to the present Convention unless it also accepts the amendment.

In witness whereof the undersigned, having been duly authorised thereto by their respective Governments, have signed the present Convention.

Done at Brussels on the fifteenth day of December, nineteen hundred and fifty (December 15th, 1950) in the English and French languages, both texts being equally

authentic, in a single original, which shall be deposited in the archives of the Government of Belgium which shall transmit certified copies thereof to each signatory and acceding Government.

FOR GERMANY :

V. MALTZAN

FOR AUSTRIA :

FOR BELGIUM :

Paul van ZEEFAND

FOR DENMARK :

Bent FALKENSTJERNE

FOR FRANCE :

J. de HAUTECLOCQUE

FOR GREAT BRITAIN
AND NORTHERN IRELAND :

J. H. LE ROUGETEL

FOR GREECE :

D. CAPSALIS

FOR IRELAND :

FOR ICELAND :

Pétur BENEDIKTSSON

FOR ITALY :

Pasquale DIANA

FOR LUXEMBOURG :

Robert ALS

FOR NORWAY :

Johan Georg RAEDER

FOR THE NETHERLANDS :

G. BEELAERTS van BLOKLAND

FOR PORTUGAL :

Eduardo VIEIRA LEITAO

FOR SWEDEN :

G. de REUTERSKJOLD
FOR SWITZERLAND :
FOR TURKEY :